

看護管理者連絡会議概要

【目的】 保健医療福祉に携わる看護管理者がそれぞれの立場から「看護の質の向上」に係わる諸問題について討議、検討を行い、地域における各看護管理者同士のネットワーク活動をとおり、看護職の総体的な資質向上の推進を図るとともに、都民への看護サービスの質を高めることを目的としています。

【沿革】 昭和37年度から 看護管理者連絡会議の前身である総婦長会として活動を開始
平成14年度から 看護教育管理者部門が自主運営として切り離され、現在の「看護管理者連絡会議」として再構築

【構成】 都内の病院の看護管理者、都内の看護師等学校養成所の教育管理者、都内の訪問看護ステーション、保健所等の看護管理者

【活動内容】

看護管理者連絡会議は、都内看護職の「看護の質の向上」を図るため、地域における各看護管理者の主体的活動の場の一つとして、東京都が支援をする形で、講演会やシンポジウム、看護管理者同士の情報交換などの活動を行っています。

看護管理者連絡会議は、各医療圏や区市などの単位での看護管理者による主体的ネットワーク活動を推進するためのきっかけや、情報提供の場としての機能も有しています。

【活動テーマ（過去10年）】

平成21年度	「人材定着」～ナースはどこへ行った～
平成22年度	「看護管理力を鍛える」～戦略的な看護管理者になるために～
平成23年度	「管理職が取り組む人材育成」～次のリーダーをいかに育てるか～
平成24年度	「災害時の危機管理体制」
平成25、26年度	「管理職が推進する医療連携」
平成27、28年度	「人材育成」
平成29年度	「地域包括ケアにおける看護管理者の役割」
平成30年度	「地域包括ケアシステム」
平成31年度	「キャリア支援」